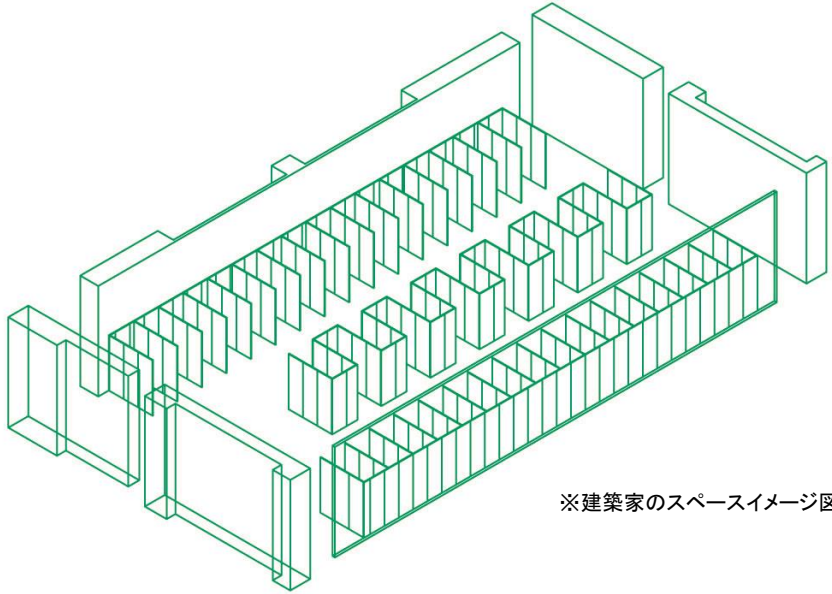


「未来の家」に集まろう。

16回目は「建築×アート」



大栗恵 《Paysage d'une fenêtre》2009年



※建築家のスペースイメージ図

2013年12月14日(土)

-2014年1月26日(日)

会場: 国立新美術館 企画展示室2E

主催: 文化庁、国立新美術館、読売新聞社
アート・ベンチャー・オフィス ショウ

制作: アート・ベンチャー・オフィス ショウ

文化庁委託事業「平成25年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

16th
DOMANI・明日展

未来を担う美術家たち 建築×アート

〈文化庁芸術家在外研修の成果〉



■ 展覧会について

文化庁は、将来の我が国の芸術界を支える芸術家を支援するため、若手芸術家を海外に派遣し、その専門とする分野について研修の機会を提供する、「芸術家在外研修(新進芸術家海外研修制度)」(※)を昭和42年度から実施しています。

その研修の成果発表である本展は過去15回を数え、様々なジャンルから選出された活躍中の作家が、その時々日本の美術の在り様を提示してきました。

16回目となる今展では、初めて“建築”という未紹介のジャンルを取り込み、アートのも多様性と力をご紹介していきます。

それにとめない、初めての試みとして「未来の家」というテーマを設け、44名の建築家たちがひとつの作品を創り上げるとともに他ジャンルのアーティスト8名と競演します。

それぞれの作家が提示する「未来の家」とは？ 美術界の明日を担う作家たちの多彩な表現が一堂に会する、貴重な機会をぜひご覧ください。

※「芸術家在外研修(新進芸術家海外研修制度)」とは

文化庁が、若手芸術家を海外に派遣し、その専門とする分野の研修を支援する制度で、1967年(昭和42年)から実施。これまで約3000名を派遣している。美術、音楽、演劇、舞台美術等及び映画、メディア芸術を対象に1年、2年、3年、特別派遣(80日)の各種があり、研修員は、大学などの教育機関や工房における研修、一流アーティストによる個人指導などさまざまな形態で高度な実践的な研修を行っている。

■ 広報についての問合せ先

《広報事務局》

株式会社アート・ベンチャー・オフィス ショウ

TEL:03-3485-7866 FAX:03-3485-7851

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1-18-8-301

e-mail:avo-shou.pr@ktd.biglobe.ne.jp 担当:市川

■ 開催概要

《展覧会名》 未来を担う美術家たち 16th DOMANI・明日展
文化庁芸術家在外研修の成果

《会期》 2013年12月14日(土)~2014年1月26日(日)

《休館日》 毎週火曜日および2013年12月24(火)~2014年1月7日(火)
は年末年始メンテナンス休館

《開館時間》 午前10時~午後6時
毎週金曜日は午後8時まで(入場は閉館の30分前まで)

《会場》 国立新美術館 企画展示室2E
〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2
<http://www.nact.jp/>

《アクセス》 東京メトロ千代田線 乃木坂駅 青山霊園方面改札
6出口(美術館直結)
東京メトロ日比谷線 六本木駅 4a出口から徒歩約5分
都営地下鉄大江戸線 六本木駅 7出口から徒歩約4分

《主催》 文化庁、国立新美術館、読売新聞社
アート・ベンチャー・オフィス ショウ

《制作》 アート・ベンチャー・オフィス ショウ

《観覧料》 一般 1,000円(800円)、大学生500円(300円)
※()内は前売りおよび20名以上の団体料金
※高校生、18歳未満および障害者手帳のお持ちの方と付添の方1名は無料
※前売券は、ローソクチケット(Lコード:35657)でお求め下さい。(10/1~12/13まで販売。以降は当日券を取り扱っていません。)

※団体券は国立新美術館でのみ販売

※国立新美術館で開催中の他の企画展および公募展のチケット、またはサントリー美術館、森美術館(六本木アート・トライアングル)で開催中の展覧会チケット(半券可)を提示された方は団体料金でご覧いただけます。

《問合せ先》 03-5777-8600(ハローダイヤル)

《展覧会HP》 <http://domani-ten.com/>

《Twitter》 @DOMANI_ten

■ 展覧会の見どころ

★ 16回目は初めて**建築**というジャンルを紹介！

「DOMANI・明日展」は、過去15回開催してきましたが、今まで「建築」という分野を紹介したことがありませんでした。そして建築の参加者がなんと44名！

★ 初めての試み「**未来の家**」をテーマに作品展示！

建築家とアーティストがゆるやかに表現する「未来の家」とは、いったいどのようなものか？

★ **建築とアート作品が一堂に会する！**

建築家44名がひとつの場を創り上げ、アーティスト8名がそれぞれの空間を展開！

■ 出品作家<artists>番号は派遣年度順 ※出品作品は変更になる場合があります。

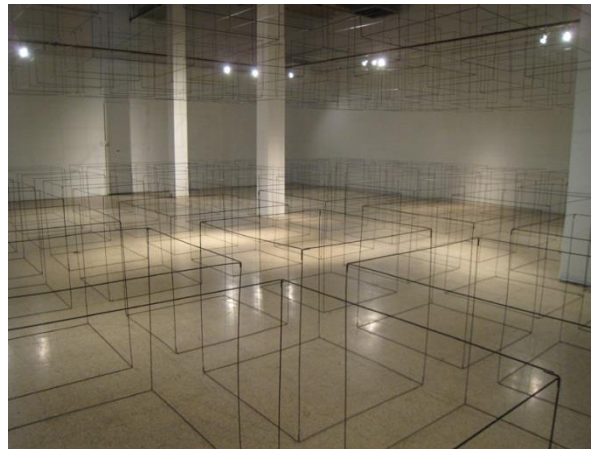
② 徳丸鏡子 Kyoko TOKUMARU 陶芸 2003年度派遣 アメリカ



サークル状に設置した陶作品の中で、人が体感してパワーチャージできるような空間を制作する。

《蠕動ー表皮から記憶へ》
1994年

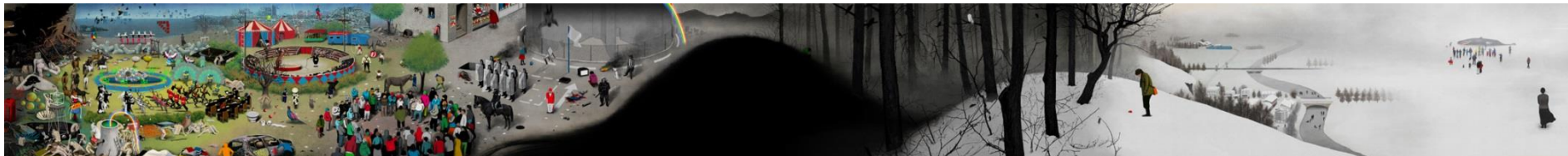
③ 川上りえ Rie KAWAKAMI 彫刻 2006年度派遣 アメリカ



無数のワイヤーを使用した作品群。天井からワイヤーを吊るし作品の構築や動的变化を目で感じる事ができる作品を展示する。

《Living Cube》2009年
「Living Cube」展 「The Lab」展
(サンフランシスコ、カリフォルニア州)展示風景

① 榊原澄人 Sumito SAKAKIBARA メディア芸術 2003年度派遣 イギリス

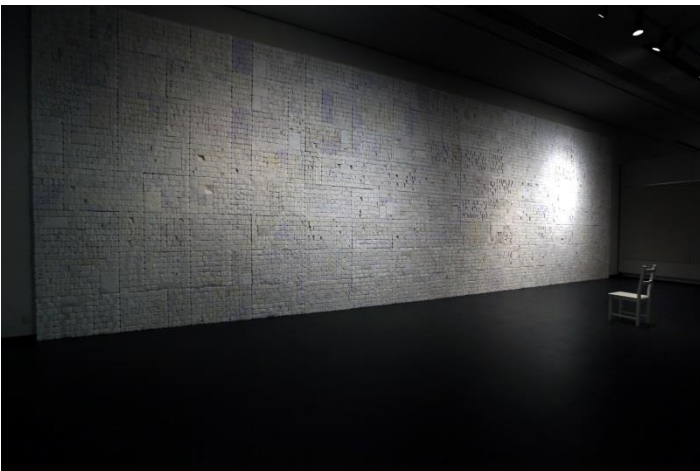


16m幅の画面に絵巻物のように人や風景、季節の営みがめぐるように展開する作品。今回は新作も発表。

《É IN MOTION No.2》(部分) 2013年

■ 出品作家<artists>番号は派遣年度順

④ 吉本直子 Naoko YOSHIMOTO 現代美術
2006年度派遣 イギリス



古着の白いシャツを圧縮して糊で固め、ブロック状のパーツを組み合わせる作品。《鼓動の庭》を含め、4点を展示。

《鼓動の庭》
2009-12年

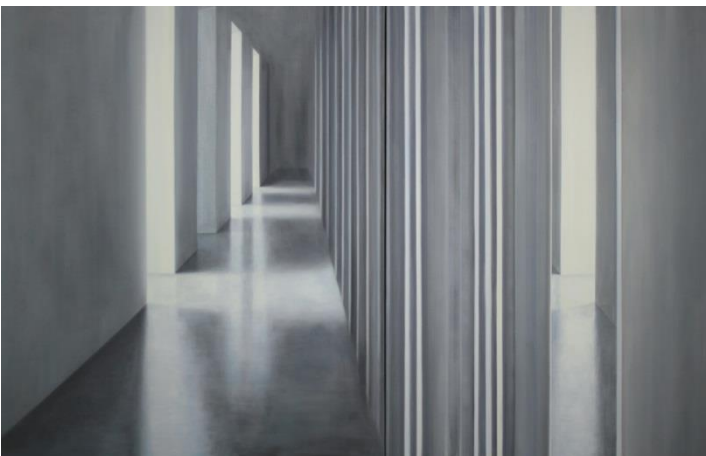
⑥ 大野由美子 Yumiko ONO インスタレーション
2007年度派遣 チェコ共和国



近年、「家」を重要なテーマとして作品を制作。今回は会場全体にパズルピースを敷き詰めたような作品展示。

《Home》2010年
Gallery Cube
(プラハ、チェコ共和国)
展示風景

⑦ 小笠原美環 Miwa OGASAWARA 絵画
2011年度派遣 ドイツ



《living》2010年
Courtesy: Gallery Vera Munro / SCAI THE BATHHOUSE

現代社会で人間が作り上げる空間の精神性に興味があり、人間性の表現の一部として『間』を描いている。今回は、新作、日本での未発表を含め約10点を展示。

⑧ 土橋素子 Motoko DOBASHI 壁画, インスタレーション
2011年度派遣 アメリカ



《折りたたまれた小屋》2011年
Gallery Laurent Mueller (パリ、フランス) 展示風景

家の持つ機能を最小限のもので表現することにより、家とい概念そのものを解体し見直すことを促す作品。美術館の中にながら家の中に入る疑似体験ができるようなインスタレーション。

⑤ 大栗恵 Megumi OHGURI 写真
2007年度派遣 フランス



《Paysage d'une fenêtre》2009年

代表作《Paysage d'une fenêtre》の映像と写真作品を展示。写真ではあるが、まるで水彩画のような質感をもつ作品。

■ 出品作家<architects>派遣年度順

文化庁芸術家在外研修制度に建築が取り入れられてから、約96名の研修者がそれぞれの研修先に赴きました。これまで絵画・彫刻等を中心として発表してきましたが、今年は建築分野も展示に加えて、「未来の家」をテーマに展覧会場をひとつの建築で創り上げます。

氏名	派遣年度	派遣先
栗生 明	1983	イタリア
小川 晋一	1984	アメリカ
古谷 誠章	1986	スイス
竹内 裕二	1989	イタリア
西森 陸雄	1992	イタリア
山岡 嘉彌	1992	イタリア
古暮 和歌子	1994	フランス
堀川 秀夫	1994	イタリア
岡田 哲史	1995	アメリカ
戸室 太一	1995	ポルトガル
林 寛治	1995	イタリア
松島 史朗	1995 2000	アメリカ
今永 和利	1996	イギリス
大松 俊紀	1998	オランダ
吉村 靖孝	1999	オランダ
宮元 三恵	2000	イギリス
白井 宏昌	2001	オランダ
原田 真宏	2001	スペイン
秋吉 正雄	2002	アメリカ
柄沢 祐輔	2002	オランダ
土井 一秀	2002	イギリス
長田 直之	2002	イタリア

氏名	派遣年度	派遣先
藤井 由理	2002	ドイツ
松田 達	2002	フランス
松原 弘典	2002	中国
丸子 淳	2002	イタリア
山口 尚之	2002	アメリカ
山添 奈織	2002	フランス
大津 若果	2003	メキシコ
霜田 亮祐	2003	アメリカ
山田 良	2003	ノルウェー
郡 裕美	2004	アメリカ
迫 慶一郎	2004	アメリカ
田中 宏明	2004	スイス
伊藤 廉	2005	ポルトガル
瀬下 淳子	2006	ポルトガル
田辺 雄之	2006	イギリス
平瀬 有人	2006	スイス
小嶋 芳秀	2007	スペイン
鈴木 葉菜子	2008	スイス
大野 暁彦	2009	オランダ
松川 昌平	2009	アメリカ
石井 大五	2010	ノルウェー
細海 拓也	2010	スペイン

■ イベント

《建築のプレイベント》

2013年11月18日(月) 18時から
場所:早稲田大学
講師:古谷誠章

《ギャラリートーク》

・ARTISTS 11時から
2013年12月14日(土) 徳丸鏡子、大野由美子、小笠原美環、
15日(日) 榎原澄人、吉本直子、土橋素子
2014年 1月12日(日) 川上りえ、大栗恵

・ARCHITECTS

各日、数名の建築家が行います。
詳しくは、展覧会HPをご確認下さい。

《座談会》

・「海外派遣研修について」
2013年12月14日(土) 14時から 国立新美術館3階研修室 A・B
パネリスト:徳丸鏡子、小笠原美環、田中宏明、細海拓也

・「アートと建築の可能性」

2014年1月12日(日) 14時から 国立新美術館3階研修室 A・B
パネリスト:川上りえ、大栗恵、松田達、松川昌平

《建築家シンポジウム》

2013年12月22日(日) 14時から 国立新美術館3階講堂
パネリスト:栗生明、小川晋一、古谷誠章、林寛治、松田達

●座談会・建築家シンポジウムの申込方法

展覧会事務局宛にメール(avo-shou.pr@ktd.biglobe.ne.jp)か
FAX(03-3485-7851)で「郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレス・
人数」をご記入の上、お申込み下さい。応募多数の場合は抽選とさせていただきます。後日、当選者の方のみご連絡いたします。

《建築家DAY》

2013年12月23日(月・祝)
建築の出品作家が会場に集合します。
作品について聞きたいことがあれば、ぜひ質問をして下さい。

《パフォーマンス》

2014年1月24日(金)12時、15時、19時 (各7分のソロ・パフォーマンス)
ダンサー: Alice Hinde
吉本直子の作品からインスピレーションを受け、作品の前でパフォーマンスを披露。詳しくは、展覧会HPをご確認下さい。

16th DOMANI^{トマニ}・明日展

掲載についての注意事項と広報用作品画像データ・読者プレゼント用招待券申込書

FAX: 03-3485-7851

以下の内容をお読みいただき、必要事項をご記入のうえお送りください。

1. 作品画像データの使用

本展覧会を紹介していただける場合に限り、
プレスリリース掲載作品の画像データを貸し出いたします。

2. 掲載についての注意事項

- *必ず **作家名・作品名・制作年・記載必須事項** を表記してください。
- *作品は必ず全図で使用してください。(改変・部分使用・文字のせは不可)
- *確認のため、必ずゲラの段階で広報事務局に原稿をお送りください。
(fax、メール可)

*ご掲載いただいた場合、掲載紙/誌を1部、広報事務局にご送付
くださいますようお願い申し上げます。
なお、掲載ページをPDFファイルにてお送りいただいても構いません。
(その際は広報事務局までご一報ください)

3. 読者・視聴者によるお問い合わせ先の掲載は

T E L: 03-5777-8600 (ハローダイヤル)
展覧会HP: <http://domani-ten.com/>

4. 読者・視聴者へのプレゼント用招待券のご提供について

本展広報用として、作品図版使用を条件に1媒体につき招待券を
10組20名様分ご用意いたします。(文章のみで紹介の場合は5組10名様)
ご希望の際は下記申込書にご記入の上、お申し込みください。
なお、招待券の発送は掲載紙/誌をご送付いただいてからとなり
ますので、あらかじめご了承ください。

《 広報の問い合わせ先 》

「DOMANI・明日」展 広報事務局 (アート・ベンチャー・オフィス ショウ内) 担当: 市川
〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1-18-8-301
TEL:03-3485-7866 FAX:03-3485-7851 e-mail:avo-shou.pr@ktd.biglobe.ne.jp

申し込みフォーム

封筒の宛名ラベル記載 NO.

NO.を入れていただければ、ご記入は※の部分だけで構いません。但しラベル記載事項に変更のある場合は、ご記入ください。

貴 媒 体 名			
貴 社 名 / 部 署			
ご 担 当 者 名 ※	e-mail :		
ご 住 所 〒			
ご 連 絡 先 ※TEL :	※FAX :		
掲載号 / 放送日 ※	掲載号発売日	※	月 日
プレゼント用招待券 (いずれかに○)	希望する	・	希望しない
画像データの必要期限		月	日まで

No.	作家名・作品名・制作年・記載必須事項
1	榑原 澄人 《É IN MOTION No.2》(部分) 2013年
2	徳丸 鏡子 《蠕動ー表皮から記憶へ》 1994年
3	川上りえ 《Living Cube》 2009年 「Living Cube」展 / The Lab (サンフランシスコ、カリフォルニア州) 展示風景
4	吉本 直子 《鼓動の庭》 2009-12年
5	大栗 恵 《Paysage d'une fenêtre》 2009年
6	大野 由美子 《Home》 2010年 Gallery Cube (プラハ、チェコ共和国) 展示風景
7	小笠原 美環 《living》 2010年 Courtesy: Gallery Vera Munro / SCAI THE BATHHOUSE
8	土橋 素子 《折りたたまれた小屋》 2011年 Gallery Laurent Mueller (パリ、フランス) 展示風景